

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	35210
政策名(章)	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます	評価担当部	経済部
基本施策名(節名)	第2節 観光の振興と余暇対策の推進	評価担当課	観光振興課
施策名	魅力ある観光資源の整備と情報発信	課長名	柳川 勝

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

相模原市観光振興計画に基づき、相模川の豊かな自然、歴史的文化財、文化的施設や各種イベントなど、魅力ある観光資源の整備充実や新たな魅力源の創出に努めるとともに、内外への情報発信を図る。
 ・平成15年度に相模原市観光協会ホームページを開設し、観光資源の情報の受発信体制を充実させている。
 ・市民まつりを始め五大観光行事や地域活性化イベントなどの観光事業を積極的に支援している。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		48,238	新磯地区複合施設整備事業、観光振興計画策定事業が終わったため。
人件費		78,095	
市民一人あたりの事業費	1,041	189	
合計	641,417	126,333	

*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

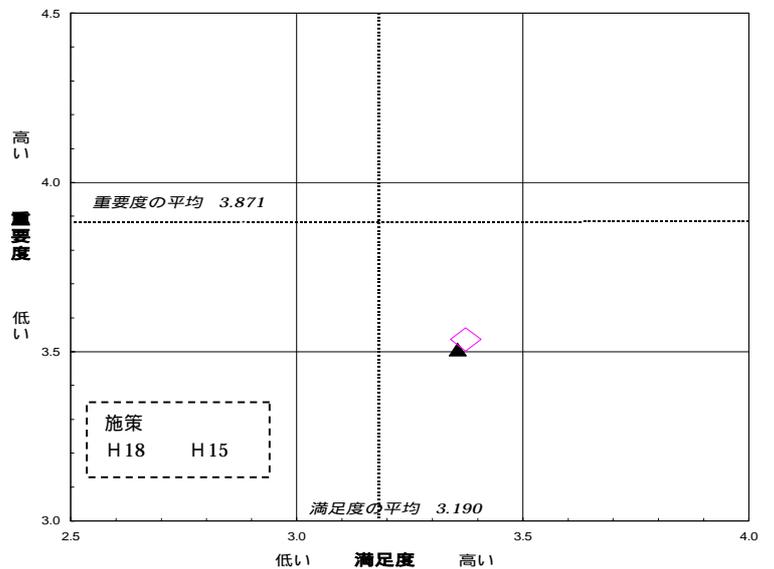
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	入込観光客数	市内の観光施設、観光行事に入り込んだ観光客数	3,271(千人)	16
指標2	観光協会ホームページのアクセス数	当該年度のアクセス数	80(千件)	16
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値		中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	3,435	3,628	19	6,631	21	8,024	対前年比105%(対前年比の過去5年間の平均値:101.3%から)、平成19年度に新観光振興振興計画策定後、110%とする。
達成率	105.6%						
指標2	88	100	19	106	21	129	対前年比110%(16年3月開設、平成16年度8万件、平成17年度10万件)
達成率	113.6%						
指標3							
達成率	#DIV/0!%						
指標4							
達成率	#DIV/0!%						
指標5							
達成率	#DIV/0!%						

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.374で51施策の中で5番目。
 重要度は3.536で43番目である。
 改善要望度は - 0.3668で50番目である。
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は20歳代でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位に大きな違いはみられないが、重要度は上がっている。
 満足度の順位、重要度の順位ともに20歳代で前回調査より上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4	達成率が108.8%と目標値を越えている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4	市民一人当りの事業費は、平成14年度1,041円 平成17年度189円となっており、効率性の良い事業構成となっている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	2	満足度は51施策中5番目の満足度で、平均を超えているが、重要度は平均より低い。	
合計		10	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	合併に伴い、従来の都市型観光を提唱する「相模原市観光振興計画」を見直しする必要がある。また、その推進母体である相模原市観光協会について、今後組織の充実・活性化を図り、総合的にコーディネートできる組織へ変革する時期に来ている。
解決策	平成19年度に計画の見直し、平成20年度に市観光協会を法人化する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標の目標値の水準が甘く高評価となっている。今後は、観光協会との連携により、より効果的な事業展開を図るとともに、合併後の施策のあり方を考慮する必要がある。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

